

令和7年原爆被爆80年の 事業計画は

真野 和久議員

事業を継続し、作品展の充実を検討

企画政策部長



▲平和を願う作品展

問 令和7年は、広島・長崎の原爆被爆80年の節目の年だ。今年、核兵器の廃絶を長年訴えて活動してきた日本原水爆被爆者団体協議会がノーベル平和賞を受賞した。

答 本市は、平成17年9月9日に非核平和都市宣言を行って以降、平和行政を推進するため、市内中学生代表者を広島市へ

派遣する非核平和広島派遣事業や市平和祈念式の開催などの平和祈念事業を実施している。

図書館では、8月に戦争と平和についての特別企画を行なうほか、市の平和祈念週間である8月6日から15日まで、書道や絵画、写真など、市民の平和を願う作品や、原爆と人間パネル、広島派遣事業に参加した中学生の作文を展示する平和を願う作品展を行っている。

令和7年度は被爆80年を迎える。引き続きこれらの事業を継続するほか、平和を願う作品展は幅広い年代からの出展を募り、展示を複数か所で行うなど、次年度に向け検討を進めていく。

問 被爆者の体験会を計画、検討できないか。

答 平和祈念事業の全体的な計画の中で考えていければ良いと考えている。

問 市内での被爆2世の状況をつかんでいるか。

答 市内での被爆2世の状況をつかんでいる。県の実施する健康診断、被爆2世の申出書、健康記録簿などを市が広報できないか。

問 自主防災会や生活支援サービス事業通所型サービスBなども利用できないか。

答 自主防災会の利用は可能だ。サービスBは利用してもらっている。

令和7年度は被爆80年を迎える。引き続きこれらの事業を継続するほか、平和を願う作品展は幅広い年代からの出展を募り、展示を複数か所で行うなど、次年度に向け検討を進めていく。

市有バスを市民団体が使いやすく

問 本市は市有バスを2台保有しており、様々な団体が研修を行うために活用している。団体からは、「休日の大会参加などに利用したい」「定員の制限を減らしてほしい」と切実な声が出ている。

土曜日・日曜日のバスの利用や定員の見直しを検討できないか。

答 運用方法についての変更は、現時点においては考えていない。

問 自主防災会や生活支援サービス事業通所型サービスBなども利用できないか。

答 自主防災会の利用は可能だ。サービスBは利用してもらっている。

令和7年度は被爆80年を迎える。引き続きこれらの事業を継続するほか、平和を願う作品展は幅広い年代からの出展を募り、展示を複数か所で行うなど、次年度に向け検討を進めていく。

令和7年度は被爆80年を迎える。引き続きこれらの事業を継続するほか、平和を願う作品展は幅広い年代からの出展を募り、展示を複数か所で行うなど、次年度に向け検討を進めていく。